



三重中央だより

当院の理念(Principle) ●いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。

新救急外来棟オープンによせて



祝 救急外来棟・開棟式典

独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター

三重中央医療センター
院長 下村 誠



いよいよ2024年4月10日、新救急外来棟がオープンしました。

当院は津市の2次輪番病院であり、脳卒中や心筋梗塞など、より重症で緊急の治療を要する3次救急患者にも対応をしています。津市の救急要請件数は年々増加しており救急医療は地域から期待

される最も重要な役割の一つであると考えております。

実は2021年度までは日中の救急車の受け入れは内科や外科の医師が当番制で対応する体制をとっていましたが、当番医が検査や手術中の際はやむなくお断りするケースもありました。そこで2022年度、救急科を新設し救急専門医の江角亮先生にきて頂き、日中の救急車の受け入れを専門に担当して頂きました。また、救急患者の初期対応を担当する初期研修医の人数が大幅に増えた事(図1)や、救急救命士を採用したことで救急患者を受け入れるスタッフが充足し日中や救急輪

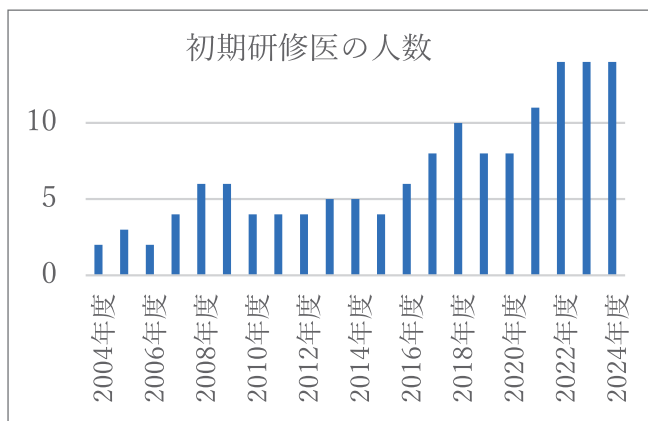


図1

番日に救急車の受け入れをお断りすることがほとんどなくなりました。その結果当院の救急車の受け入れ件数は2022年度から飛躍的に増加し、2023年度は5,612台に達しました（図2）。この数字は津市の救急車要請件数の約3分の1にあたり、1日平均15台の救急車を受け入れたこととなります。多い日には1日で60人以上の患者が殺到する日もありました。

しかし当院の旧救急室は非常に狭く、救急室に収容できないために、患者様を救急隊のストレッチャー（搬送用ベット）にのせたまま待合室で待機して頂いたこともあり救急隊の皆様には大変ご迷惑をかけていたと思います。また、コロナ禍においては当院は重点医療機関としてのべ1,200人以上の新型コロナ入院患者を受け入れてきましたが、救急室内でのゾーニングが困難で、野外の狭い仮設トリアージ室で診療を行っておりました。

そういった状況で当院の救急外来スタッフにとって新救急外来棟の建設は長年の悲願であり、設計段階から積極的に関わっていただきました。2つの陰圧室を装備し新興感染症にも対応でき、同時に多くの救急患者を収容できる広い初療室を整備しました。また棟内にCT装置とレントゲン装置を設置いたしました。建設に際しては三重県や津市からは一部援助を頂きました。心から御礼申し上げます。

津市の救急要請件数は今後も増加することが予想されますが、優秀な人材と働きやすい環境を手にしたことで、なお一層津市の救急医療をしっかり支えていく所存です。津市の救急医療に携わる行政や医師会、救急隊、三重大学医学部附属病院はじめ地域の医療機関の皆様には引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

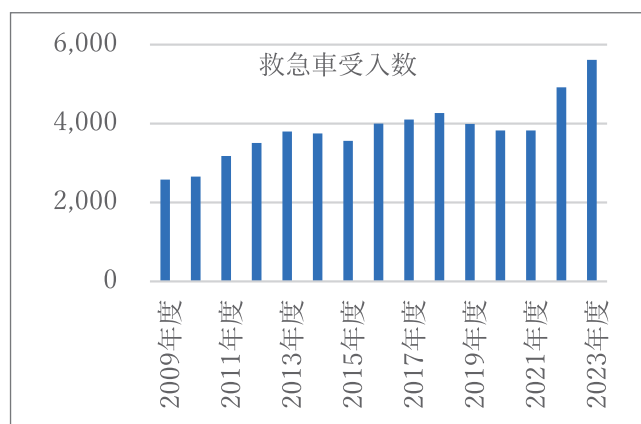


図2



新救急外来棟開設 臨床/教育/情熱で地域医療に貢献

救急科医師 ● 江角 亮



2022年度より救急科で務めさせていただいている江角亮です。どうぞ、よろしくお願いします。2015年に三重大学を卒業し、初期研修終了後、2017年より三重大学救急科に入局しました。主には大学病院で救急集中治療医として多発外傷や多臓器不全などの診療に従事する中で研鑽を積んできました。

日本の救急医療は重症患者に対して初期診療から治療までひとつの診療科で対応する救命救急と、初期診療のみに特化したER型救急の2つの特性を持っています。ER型救急では初療医が内科外科にこだわらず全ての初期評価を行い、該当診療科に入院を依頼します。従来の救命救急と比較して入院治療に携わらないため、より多くの救急搬送に対応することができます。これにより近年の高齢化に伴う救急搬送数の増加と病態の複雑性、医療の高度化によって難しくなった搬送困難症例にも迅速に対応することができます。津市は県内で最も救急搬送数が多い地域で、増え続ける搬送数に対応するべく当院では2022年より日勤帯のみER型救急を取り入れています。私自身も救命救急分野で研鑽を積んだため不慣れ部分は内科含め多くの診療科にご迷惑をおかけしつつも支えられて、今に至っております。

今回、増え続ける搬送数に対応するべく、新救急外来棟を開設に至りました。新救急外来棟は従来の救急外来に比較して診察室1室/感染症室1室/経過観察ベッド3床が増え、CT室も併設されました。少し便利になったと考えていますが、従来の救急外来が初療ベッド3床/診察室2室/感染症室1室/経過観察ベッド0床だったため、大変な苦勞の中、当院の内科外科の先生方は地域の救急医療を守ってこられたと思います。

救急外来は新設されましたが、やはり最も重要なことは人材の確保と育成と考えております。この度はこのような機会をいただきましたため、私が研修医に日々、口酸っぱく伝えている三重中央ERの理念と行動指針を紹介させていただこうと思います。

三重中央医療センターER理念

～多くの市民を幸せにするために～

「救急外来業務を通じて、
社会に役立つ人材を育成する」

行動指針

- 1 自分の頭で考え、正しいと思えることをする。
- 2 明日は明日でやるべきことがある。
- 3 人間の能力に大きな差はない。あるとすれば熱意の差である。

まず1について、我々の分野では5年～10年で常識が覆ることが多いため、上司の意見を疑い、自分で裏付けをとることが重要と考えられております。医学以外のことも含めて、研修医にはこれらの実践の場として診療に携わってもらっています。

次に2について、ERは幅広い分野の知識を求められ、研修医はその都度、自分の知識不足に頭を抱えます。これらの疑問を解決せぬままに翌日を迎える習慣はすべての疑問を解決せず研修を終える可能性を孕むため必ず疑問を解決して業務を終えることを心がけています。

最後に3について、よく耳にする「〇〇先生はさすが」「むいてないです」などは2年間の研修で口にはできる言葉ではないとして日々研鑽をつんでいただいています。

これらの行動指針に則りER研修を行い、研修終了後も専門診療科に捉われず、困った人がいれば手を差し伸べられるような医療人になってもらえるように日々ER診療に携わって頂いています。

今後、救急医療の立場から、増え続ける搬送数に対し、限られた医療資源が有機的に作用し地域社会に対して適切に医療が提供されるように尽力して参りますので、どうぞ、よろしくお願いします。

ハイケアユニット（HCU）の運用開始について

西3病棟看護師長 ● 前田 仁子

当院は、三重県中勢地区を中心とした地域の医療を担う立場にあり、特に津地区の救急患者の受け入れに力を入れています。また、救急車の受け入れは、令和5年度に年間5,000台を超えようとしています。そのような背景から、高度急性期医療を提供することを目的に、ICUに準じた医療・看護の提供を目指し、ハイケアユニット（HCU）が新設されました。

ハイケアユニットは、一般病棟では対応できない高度な治療や看護を行う病床であり、ICUや救急外来からの患者様を中心に受け入れています。病床数は4床あり、1名の看護師が配置され、ICUと同じ

スタッフが対応していますので、手厚い看護が行われています。ICUとHCUを兼務する看護師は、患者様が少しでも苦痛なく、安心して過ごして頂けるよう、努めています。細やかな観察や患者様に合った丁寧なケアを提供しているので、安心して医療を受けられたというお言葉も頂きます。術後の患者様や緊急入院の方など、HCUに入室される患者様の背景は様々ですが、お元気になられて退室される患者様の姿は、私たち看護師の励みでもあり、頑張ろうと思える活力にもなります。これからも、地域の皆様に必要とされる病院の役割が担えるよう、HCUでの急性期医療と看護の提供に取り組んでいきます。

新しい人材、院内の救世主!? “院内救命士”

救急救命士 ● 石田 壮磨



はじめまして、2023年度より院内救命士として三重中央医療センター救急科で勤務している石田壮磨です。愛知県名古屋市出身の23歳です。

今回、私自身の自己紹介も含めて、私が務める院内救命士について、紹介させていただきます。

2018年、高校生だった私は、西日本豪雨報道をみる中で、災害現場に従事する救命士の姿に憧れ、世の中のためになる仕事したいと考えて現在の道に進みました。

私が大学を卒業する前年の2021年、救急救命士法が改正され、救命士の医療行為は病院の救急外来まで行えるようになりました。この背景として高齢化に伴う救急出動件数の増加と、今後起こりうる救急医療に携わる医療従事者の不足があります。現在、津市でも、年間17,589件（令和4年度）の救急出動があり、令和5年度それを上回る勢いで増加傾向です。（2024年3月時点）当院でも救急車受け入れ件数が年々増加し、その搬送数に対応するため新たな救急外来が増設されることになりました。

スタッフについては2023年、コロナ禍でも地域の救急医療も維持した結果、過剰な業務負担により多くの医療従事者が病院を離れました。今後、救急患者が増えることによる医師／看護師の業務負担軽減を目的に、当院でも院内救命士の雇用が開始されました。

私が就労して1年近く経とうとしておりますが、院内救命士が携わったことで、救急外来看護師の業務負担が軽減されて、本来の患者や家族にケアにより多くの時間を使うことができるようになったと評価をいただきました。

私は社会人1年目として至らない部分も多々あり大変なご迷惑をおかけしたと思います。その中でも温かく見守っていただいた当院スタッフの恩に報いる意味でも引き続き自分自身の役割を全うしていきたいと考えています。

最後に今後の展望について、私が救命士になったきっかけであった災害医療へ積極的に関わっていきたくと考えています。また院内においては救命士が得意とする身体所見を中心とした観察と気道管理を中心としたバイタルの安定化により磨きをかけ、状態の悪い患者こそ院内救命士にまかせていただけるような救急医療のスペシャリストになっていきたいと考えています。

2024年1月からは同期も増え、現在2人体制で就労させていただいております。今後はより多くの病院スタッフから必要とされる存在となり、当院における院内救命士として役割を確立すると共に、地域の救急医療に貢献できるよう邁進していきたいと考えています。

女性にやさしい医療施設の認定

看護部長 酒井 陽子



妊娠、子育てに係る制度や施設の整備とその活用を促進する職場の雰囲気づくりに取り組んでいる医療機関として、令和6年3月に三重県の「女性が働きやすい医療機関」として認証されました。



出産を機に夜勤などが難しくなることや、子供の発熱などで急に出勤できなくなる状況は、周囲の理解は得られても、多大なエネルギーを要し、悩みも尽きません。一方で、そのサポートにまわっているスタッフにも、個人の健康問題や生活があり、同時に配慮を要します。誰もが働きやすいと感じる職場づくりは、つくづく簡単なことではないと感じています。

しかし今回の受審で、「管理職を中心とした職場環境づくりが行われ、子育て中の職員とサポートする職員との間に不公平感が出ないように配慮されている。」と評価されました。多様な背景や能力、考え方をもつ職員が、皆で補完し合って、患者さんにより良い医療を提供しようとする職員に、改めて感謝しました。

今後も職員満足度調査の実施や、個々の声を拾い上げながら、職員が生き活きと働ける職場づくりに努めたいと思います。



病院機能評価の受審結果について

元管理課長 幅上 弥

令和5年9月12日（火）～13日（水）の2日間にわたり、病院機能評価（一般病院2機能種別評価項目〈3rdG:Ver3.0〉）を受審し、同年12月8日付で認定を受けました。

病院機能評価とは、公益財団法人日本医療機能評価機構（第三者評価機関）による全国の医療機関を対象として組織全体の運営管理・医療について、中立的、科学的・専門的な見地から評価を行います。

審査内容は事前の書面審査に加えて、サーベイヤーによる面接調査、症例の流れを審査するケアプロセス調査、新バージョンで導入されたカルテレビューなどの訪問審査です。

長期間にわたる職員合同での準備の甲斐もあり、滞りなく受審を終え、認定証を発行して頂きました。この結果を踏まえ、今後も更なる向上を目指し、患者さまの信頼と満足がこれまでに以上に得られますよう職員一同努力して参ります。



独立行政法人
国立病院機構

三重中央医療センター

藤田医科大学七栗記念病院

独立行政法人
国立病院機構

神原病院

2024
年度

合同市民公開講座・ナイチンゲールフェア

大規模災害発生に備えて
～ 能登半島地震から学ぶ医療機関の役割 ～

予約不要・入場無料

市民公開講座

13:00～15:00

座長：三重中央医療センター 循環器内科医長

新谷卓也先生

①「津市の災害医療について」

津市健康福祉部地域医療推進室

②「能登半島地震への災害派遣から得たもの ～明日は我が身、今から備えよう～」

三重中央医療センター 心臓血管外科医長

浦田康久先生

③「災害時における精神医療チーム(DPAT)の役割 ～能登半島地震での活動報告を踏まえて～」

神原病院 公認心理師

高野真弘先生

④「災害リハビリテーション支援 (JRAT)について」

藤田医科大学七栗記念病院 リハビリテーション科医師

角田哲也先生

ナイチンゲールフェア 11:00～13:00

- * 健康チェック (骨密度測定など)
- * 栄養相談
- * フレイルチェック
- * アルコールチェック
- * アロマ体験
- * お口の相談
- * 健康体操指導
- * 1日体験薬剤師
- * メンタル相談
- * ナイチンゲール歴史展



フェア当日には、アルスプラザ駐車場にキッチンカー(カレー・ピザ・ホットドック・クレープ・団子系スイーツ)が来場予定です。昼食にご利用下さい。



- 日時 ● 2024年5月25日(土)
開場/11:00～ 開演/13:00～
ナイチンゲールフェア…11:00～13:00
市民公開講座……………13:00～15:00

- 会場 ● 津市久居アルスプラザ
ときの風ホール・アートスクエア
アートスペース



★参加された方には粗品をプレゼント!!(数量限定)★

- 主催 独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センター・藤田医科大学七栗記念病院
独立行政法人国立病院機構 神原病院
- 共催 津地区医師会・久居一志地区医師会
- 後援 津市・三重県看護協会・津市社会福祉協議会・中日新聞
- 協賛 井村屋グループ株式会社・株式会社おやつカンパニー・ユリカ株式会社・マックスバリュ東海株式会社
ネスレ日本株式会社ネスレヘルスサイエンスカンパニー・株式会社丸八ヒロタ・尾家産業株式会社

お問合せ先

月～金
9:00～17:00

独立行政法人
国立病院機構

三重中央医療センター
藤田医科大学七栗記念病院
独立行政法人
国立病院機構 神原病院

地域医療連携室
総務課
管理課

TEL 059-259-1211
TEL 059-252-1555
TEL 059-252-0211



「里山こころの便りー榊原の窓から」

精神疾患の客観的診断法

精神疾患の診断は、本人の訴えや行動などの情報や経過から病名をつけていくのみで、客観的な基準がないことが問題となっています。例えば、内科であれば、空腹時の血糖値が126mg/dL以上だと糖尿病が疑われるなどの基準がありますが、精神科ではそのような基準がありません。

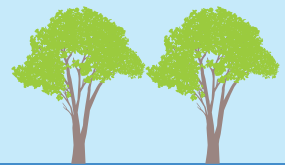
しかし、近年の神経科学の進歩により、脳イメージング技術や生物学的マーカーの研究により、客観的な診断手法を確立する試みが多くなされています。脳イメージング技術は、脳の構造や機能を非侵襲的に観察するための貴重なツールです。MRIや機能的MRIを用いることで、精神疾患に関連する脳活動や構造パターンを特定することが可能になります。例えば、うつ病や統合失調症などの疾患では、特定の脳領域の活動や構造が健常者とは異なるパターンであることが示唆されています。これにより、診断の客観性が向上し、治療の個別化が可能となる時代が来るかもしれません。

また、生物学的マーカーの研究も進展しています。血液、唾液、あるいは脳脊髄液中の特定の生化学的物質の検査により、精神疾患の診断や病態生理の理解が進んでいます。

榊原病院でも、精神疾患の客観的診断法の確立のための研究を行っています。これからも精神医学の発展に貢献していきたいと思っています。



榊原病院 院長
鬼塚俊明



「クローバー友の会」 会員募集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

設立の経緯
三重中央医療センター
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町2158-5
TEL. 059-259-1211 内
地域医療連携室

三重中央医療センター クローバー友の会

会員にご登録いただきありがとうございます。
講演会に参加いただくごとに1スタンプ押印いたします。
(スタンプ数による特典は別途公表いたします。特典は変わる場合があります。)

■会員名
住所 _____
氏名 _____
電話 _____

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

編集

後記

この4月に新生活をスタートさせた方も多いと思います。当院でも、新入職員を多数迎えることができました。社会人・医療スタッフとして1歩を踏み出した者、他の病院から転職してきた者、引き続き当院に勤務している者、全員で力を合わせて病院運営を行っていきますので、引き続き、よろしくお願ひいたします。私も2年目となり、三重中央だよりを多くの方に読んでいただけるよう取り組んでいこうと思います。(堀)

発行所

三重中央医療センター

院長 下村 誠

三重県津市久居明神町2158番地5

TEL. 059-259-1211

http://www.miechuo-hosp.jp/

三重中央医療センター

インスタはじめました

病院イベント、スタッフの日常、医学情報の日常などを発信します(^@^)

三重中央医療センター(公式)
アカウント: miechuomc

●●● 三重中央医療センター連携医療機関紹介 ●●●●●●●●

津かじわらクリニック

<https://www.tsu-kajiwara.clinic/>



当院は「たじま泌尿器科皮膚科」の跡を引き継ぐ形で、2023年7月10日に「津かじわらクリニック」として開業致しました。主に泌尿器科・形成外科、皮膚科（一般・美容）の診療を行っております。一人一人のお悩みを傾聴し、説明を丁寧に行うことで患者さまやご家族と共に治療に取り組めるクリニックを目指しております。お身体のことでお悩み・不安などがございましたら、どんなことでもお気軽にご相談ください。

院長：梶原 進也
 副院長：梶原愛莉砂
 医師：田島 和洋
 住所：〒514-0005 三重県津市鳥居町278-6
 電話：059-221-2121 FAX：059-221-2111
 診療科目：泌尿器科、形成外科、皮膚科、美容皮膚科
 休診日：日曜・祝日

泌尿器科・皮膚科一般（当日受診可、予約優先）

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00 (開院時間 8:40～)	○	○	○	△	○	◎△	△
15:00～18:30 (開院時間 14:50～)	○	○	○	△	○	—	△
14:00～17:30 (開院時間 13:50～)	—	—	—	—	—	△	△
手術対応日	—	○	—	○	—	—	△

形成外科・美容皮膚科（完全予約制）

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
10:00～14:00	☆※	☆	—	—	☆	—	△
14:00～17:00	—	—	—	—	—	☆	△
手術対応日	—	—	—	☆	—	—	△

○：院長、◎：院長（男性外来、脱毛含む）、☆副院長、△田島医師（9月以降）
 ※平日は毎日と、土曜日の午後も診療を行っています
 ※月曜日は第1、3、5週のみ
 ※内科：木曜日以外は適宜対応します
 ※手術対応日も外来診療を行っています

ますだ内科・小児科・呼吸器内科クリニック



当院は2004年に津市河芸町にて開業し、今日に至るまで小児診療を継続してまいりました。
 昨2023年内科・呼吸器内科を新たに併設し、小児科医、呼吸器内科の2名体制で診療を行っております。小児科としてはこれまでと同様に発熱対応を含めた一般診療、小児生活習慣病の診療を、内科・呼吸器内科としては高血圧症、脂質異常症などの一般内科疾患から「せき」や「呼吸苦」など専門性を生かした呼吸器疾

患の診療を行っております。また内科については適宜往診等のご相談も可能です。

三重中央医療センターさんには日頃より病診連携で大変お世話になっております。これからも地域の皆様の健康な生活のお役に立てるよう精進してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

院長：増田 英成
 住所：〒510-0303 三重県津市河芸町東千里259-1
 電話：059-244-2515 FAX：059-244-2516
 診療科目：内科・小児科・呼吸器内科
 休診日：木曜日、日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	△	○	○	△
15:00～19:00	○	○	○	△	○	△	△

△土曜午後は14:00～17:00

黒田クリニック

<https://kuroda-cl.com/>



当院は平成10年に開院、平成25年に院長を継承しました。現在は一般内科・消化器内科を中心に診療を行っています。コロナ禍以降は感染症対策にも力を入れ、動線の異なる感染症専用診察室を増築、簡易クリーン

ブース設置、院内で拡散増幅検査（ID-NOW）も行っていきます。伊賀市の南端に位置しており地域の中心地からは離れていますが、近年では遠方から来院される方も多く、なるべくお待たせしないよう全力で診療させていただきます。

院長：黒田 幹人
 診療科目：内科、消化器内科
 住所：〒518-0225 伊賀市桐ヶ丘3丁目325
 電話：0595-52-2099 FAX：0595-52-5120
 休診日：木曜午後、土曜午後、日曜日、祝祭日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9：00～12：00	○	○	○	○	○	○	△
16：00～19：00	○	○	○	△	○	△	△

KKCウエルネス三重健診クリニック

<https://www.zai-kkc.or.jp/clinic/mie/>



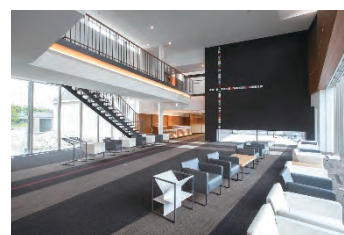
健康診断結果のご相談や健診後のフォローに対応するため、外来診療を開設しております。健康管理について不安なこと、お問い合わせがあればお気軽にご相談ください。精査が必要な場合、地域医療連携を通じ三重中央医療センター他、基幹病院に紹介させていただいております。

KKCの人間ドックはさまざまな検査を行い、専門医師から疾患の治療方法、生活習慣病の予防や健康増

進についてアドバイスをお受けいただけます。

（主なメニューと検査）

人間ドック、定期健康診断、婦人科健診、脳ドック、大腸CT検査、超音波検査、各種がん検診など。



診療所長：西川 政勝
 住所：〒514-0131 津市あのかつ台4丁目1-3
 予約電話：059-269-5678（健診）
 050-3537-0947（外来診療）
 診療科目：内科
 休診日：土・日・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9：00～12：00 （健診）	○	○	○	○	○	△	△
15：00～18：30 （外来診療）	○	○	○	○	○	△	△



外来診療担当表

●初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30~11:00までです。
●医師の人事異動・出張等により臨時に代診(林診)となる場合があります。

2024.4.1 現在

診療科名等		月	火	水	木	金	
初診内科 (初診・予約外)	1診	井端 英憲【呼】	内藤 雅大【呼】	田中 淳子【循】	川崎 敦【循】	後藤 浩之【糖】	
	2診	新谷 卓也【循】	福岡 秀介【循】	井田 紗矢香【糖】		村上 弘明【循】	
	3診	宮田 徹也【消】	倉田 一成【消】	宮田 徹也【消】	渡邊 典子【消】	葛原 正樹【消】	
	4診	久留 仁【呼】	宗吉 佑樹【糖】	坂倉 康正【糖】	西村 正【呼】	岩中 宗一【呼】	
再診内科 (再診予約のみ)	呼吸器内科	5診			井端 英憲(午後再診)		
		6診		井端 英憲	井端 英憲	内藤 雅大	
	(整形1診)		藤本 源			垂見 啓俊【呼】	
	循環器内科	5診	田中 淳子	川崎 敦		村上 弘明(午前再診)	
	消化器内科	7診	葛原 正樹	宮田 徹也	渡邊 典子	田口 由紀子	倉田 一成
	内科	8診	岡崎 真大【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	井田 紗矢香【糖】	新谷 卓也【循】
		9診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史(初診)【糖】	田中 剛史【糖】
		10診	坂倉 康正【呼】	井田 紗矢香(1,3週) 後藤 浩之(2,4週)【糖】	内藤 雅大【呼】	宮原 健吉(大学)【糖】	岡野 智仁【呼】
	(泌尿器1診)		宗吉 佑樹【糖】				
	(泌尿器2診)		若中 宗一【呼】		辻 愛士(7月まで)【呼】		
	(整形2診)			西村 正【呼】			
	腎臓内科(内科6診)		村田 智博				
肝臓内科(内科5診)				吉川 恭子(1,3週)【消】			
(整形3診)					吉川 恭子【消】		
ペースメーカーチェック(14ブロック)		ペースメーカーチェック(毎月第1月曜日午後)			ペースメーカーチェック(毎月第1木曜日午前)		
脳神経内科	1診	北川 長生	北川 長生	北川 長生	有川 茂雄	林 理絵	
	2診	大内 智洋	有川 茂雄	林 理絵	大内 智洋	吉丸 公子	
	心外 呼外			松岡 知也	松岡 知也		
小児科・新生児科 (初診・再来初診は紹介のみ) (初診以外は完全予約制)	午前	1診	井戸 正流(初診)	櫻井 直人(初診)	井戸 正流(初診)	田中 滋己	田中 滋己(初診)
		2診	小川 昌宏	小川 昌宏	内菌 広匡(2,4週) フォローアップ健診	内菌 広匡	大槻 祥一郎
		3診	田中 滋己	親子支援	大森 あゆ美	小川 昌宏	北村 創矢(予約)
		4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子	
	午後	1診	小児外科医師	2週間・1ヶ月健診	内菌 広匡	田中 滋己(1,3,5週) 櫻井 直人(2,4週)	大森 あゆ美(1,3,5週) 佐々木 直哉(2,4週)
		2診	小児神経外来 内菌 広匡(2,4,5週)		佐々木 直哉(1,3,5週)	内菌 広匡(1,3,5週)	成長外来
		3診	小川 昌宏(1,3,5週)	NICU連携 心工コー外来(1,3週)	小川 昌宏		シナジス外来
	4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子		
消化器外科	1診(初診)	湯浅 浩行	辰巳 亜依	大森 隆夫	信岡 祐	林 泰三	
	2診(予約)	信岡 祐	下村 誠	代診	山路 隆斗	湯浅 浩行	
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)						安達 勝利	
乳腺外科(予約のみ)	外科2診					澁澤 麻衣	
整形外科 (紹介のみ)	1診	田中 雅		高北 久嗣		田中 雅	
	2診	高北 久嗣		山口 敏郎		山口 敏郎	
	3診	前田 ひづき		前田 ひづき			
形成外科	呼外1診	三重大【形成】					
脳神経外科	1診(初診)	石田 藤彦	岸本 智之	池澤 宗成	深澤 恵児	山本 陽子	
	2診(予約)	霜坂 辰一(午後)	石田 藤彦	霜坂 辰一(午後)	池澤 宗成(午前)	深澤 恵児	
脊椎・脊髄外科 (予約・紹介のみ)	脳外2診				池澤 宗成(午後) (初診及び再診は13:00~15:00)		
呼吸器外科	1診		午前:安達 勝利 午後:渡邊 文亮		渡邊 文亮	安達 勝利	
心臓血管外科		浦田 康久		佐藤 友昭		日置 巖雄	
皮膚科(初診は紹介状のみ・完全予約制)		中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	
泌尿器科	1診		長谷川 嘉弘(初診)	加藤 雅史(初診)	長谷川 嘉弘(初診)	長谷川 嘉弘	
	2診		荒瀬 栄樹	手術日	荒瀬 栄樹	荒瀬 栄樹	
	整形3診(火・金曜日)						
	整形1診(木曜日)		服部 優奈		服部 優奈	服部 優奈(初診)	
産科・婦人科	午前	1診(初診)	榊原 洸太	山口 恭平	榎本 尚助	村瀬 結香	下村 優莉奈
		2診(婦人科再診)	北村 亜紗	村瀬 結香	榊原 洸太	榊原 洸太	柏原 優花
		3診(産科再診)	榎本 尚助		吉村 公一	吉村 公一	
		4診(助産師外来)		毎日、完全予約制(担当は交代制)			
	午後	1診(産科再診)	榊原 洸太	山口 恭平	榎本 尚助	村瀬 結香	下村 優莉奈
		2診(婦人科再診)	北村 亜紗	村瀬 結香	榊原 洸太	榊原 洸太	柏原 優花
		3診	榎本 尚助	産後一ヶ月健診	吉村 公一	吉村 公一	
		4診		毎日、完全予約制(担当は交代制)			
眼科		前田 聡	前田 聡	前田 聡	三重大学医師	前田 聡	
耳鼻咽喉科	午前(初診)		西田 幸平	伊藤 由紀子	西田 幸平	西田 幸平	
	午前(再診予約のみ)	伊藤 由紀子	乙田 愛美		乙田 愛美	伊藤 由紀子	
放射線科	画像診断	初瀬 耕	初瀬 耕	初瀬 耕	初瀬 耕	初瀬 耕	
	放射線治療 (事前予約のみ)	午前		二見 友幸			
	午後	笹岡 政宏		笹岡 政宏	二見 友幸		
歯科・歯科口腔外科	午前	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子		柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子		
	午後	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/三重大歯科医	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/若林 宏紀	
看護外来(予約のみ)		第1月曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	第2・3火曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	糖尿病外来 がん看護相談外来	ストーマ外来 がん看護相談外来	フットケア外来 がん看護相談外来	

不整脈専門外来	形成外科外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわすれ外来	未破裂脳動脈瘤の相談
月・火曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月・火・水・木・金曜日 午前診療	金曜日	月曜日 午後診療
循環器内科(新谷)	形成外科(細見)	呼吸器内科	呼吸器内科	脳神経内科(吉丸)	脳神経外科(石田)
水頭症外来	脊椎・脊髄外科専門	肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・臈胸	助産師外来	おっぴい外来(予約)	乳腺外科(予約)
木曜日 午前診療	木曜日 (13時~15時)	火・木・金曜日 午前診療	月・水・木・金曜日 午前午後診療 火曜日 午前診療	火曜日 午後診療	金曜日 午後診療
脳神経外科(深澤)	脊椎・脊髄外科(池澤)	呼吸器外科	産科	産科	乳腺外科(澁澤)